

博士前期課程経済学専攻の教育目標と授業科目の関係

博士前期課程経済学専攻の教育目標

- 1) 基礎  
経済学の分野における最先端の研究に必要な不可欠な基礎理論および分析等に必要となる計算能力や計算機操作を習得する。
- 2) 最先端知識  
経済学の分野における最先端の研究についての知識を深めるとともにその研究課題や解決方法を習得する。
- 3) 英語  
経済学の分野における英文テキストや最新の英語論文を読む能力、研究成果を英語により発信できる能力を養う。
- 4) コミュニケーション  
経済学の分野における最先端の研究に携わり、未解決な問題を明確にしつつ自分の研究課題に取り組むことにより、調査研究手法を習得する。また、発表・ディスカッションにより論理的な思考能力、豊かな表現能力、十分な問題解決能力および高度なコミュニケーション能力を養う。

教育目標と授業科目の対応表

表中の「教育目標」の数字は、前ページの[2]. 1)基礎～4)コミュニケーションの教育目標に対応し、○印がついている番号がその授業科目の目標であることを示している。

博士前期課程 経済学専攻

	カリキュラム		教育目標				配当年次
	授業科目	単位数	1	2	3	4	
必修科目	演習ⅠA	2	○	○	○	○	1
	演習ⅠB	2	○	○	○	○	1
	演習ⅡA	2	○	○	○	○	2
	演習ⅡB	2	○	○	○	○	2
	修了に要する単位数(必修科目)	8	①				
選択科目	ミクロ経済学基礎講義A	1	○				
	ミクロ経済学基礎講義B	1	○				
	マクロ経済学基礎講義A	1	○				
	マクロ経済学基礎講義B	1	○				
	計量経済学基礎講義	2	○				
	*ミクロ経済学特論1A	2		○		○	
	*ミクロ経済学特論1B	2		○		○	
	*ミクロ経済学特論2A	2		○		○	
	*ミクロ経済学特論2B	2		○		○	
	*マクロ経済学特論1A	2		○		○	
	*マクロ経済学特論1B	2		○		○	
	*マクロ経済学特論2A	2		○		○	
	*マクロ経済学特論2B	2		○		○	
	*計量経済学特論1	4		○		○	
	*計量経済学特論2	4		○		○	
	*計量経済学特論3A	2		○		○	
	*計量経済学特論3B	2		○		○	
*行動経済学特論1A	2		○		○		
*行動経済学特論1B	2		○		○		

	*行動経済学特論 2A	2		○		○	
	*行動経済学特論 2B	2		○		○	
	*経済学史特論 1A	2		○		○	
	*経済学史特論 1B	2		○		○	
	*経済学史特論 2A	2		○		○	
	*経済学史特論 2B	2		○		○	
	*経済史特論 1A	2		○		○	
	*経済史特論 1B	2		○		○	
	*経済史特論 2A	2		○		○	
	*経済史特論 2B	2		○		○	
	*経済政策特論 1A	2		○		○	
	*経済政策特論 1B	2		○		○	
	*経済政策特論 2A	2		○		○	
選 択 科 目	*経済政策特論 2B	2		○		○	
	*社会政策特論 1A	2		○		○	
	*社会政策特論 1B	2		○		○	
	*社会政策特論 2A	2		○		○	
	*社会政策特論 2B	2		○		○	
	*国際経済学特論 1A	2		○		○	
	*国際経済学特論 1B	2		○		○	
	*国際経済学特論 2A	2		○		○	
	*国際経済学特論 2B	2		○		○	
	*産業経済論特論 1A	2		○		○	
	*産業経済論特論 1B	2		○		○	
	*産業経済論特論 2A	2		○		○	
	*産業経済論特論 2B	2		○		○	
	*財政学特論 1A	2		○		○	
	*財政学特論 1B	2		○		○	
	*財政学特論 2A	2		○		○	
	*財政学特論 2B	2		○		○	
	*金融論特論 1A	2		○		○	
	*金融論特論 1B	2		○		○	
	*金融論特論 2A	2		○		○	
	*金融論特論 2B	2		○		○	
	経営学特別研究 A	2		○		○	
	経営学特別研究 B	2		○		○	
	外国文献研究(英)A	2				○	
	外国文献研究(英)B	2				○	
	論文演習 M I	2	○	○	○	○	1
	論文演習 M II	2	○	○	○	○	2
	修了に要する単位数 (選択科目)	22	②				
	修了に要する単位数 (合計)	30	①	+	②		

注) \*印は、なかもずキャンパスにおける必修科目 (所属するコースの特論 2 科目 4 単位)

を表す。